

STI Horizon 誌創刊に当たって

2016年度からの第5期科学技術基本計画の開始に当たり、約15年間続いて参りました「科学技術動向」誌をリニューアルし、イノベーションへの展開、社会実装への展開も考慮した「STI Horizon」誌を創刊する運びとなりました。

従来の最先端の科学技術動向を探るという視点だけでなく、今は微細なことであっても将来社会には大きなインパクトを与えるであろう事象を把握することが、今後の科学技術政策には必要とされています。この微小な変化を効率良く捉えた上で、どのような科学技術が求められていくのか、科学技術政策、イノベーション政策をどのように形成していくのか、その議論に資する情報を提供していきます。



情報の提供に当たっては、人材育成や産学官連携・地域連携、政策のための科学等、科学技術・学術政策研究所の調査研究を横断的に活用し、さらには関係府省、諸機関との連携を深めていきたいと考えています。

また社会における微小な変化の把握には、OECDやASEAN等の国際機関との協働による徹底した議論と、ICT技術や機械学習手法等を駆使した変化の兆しの定量的な把握等も含め、科学技術・学術政策研究所独自の手法の確立を同時に目指していきます。

皆様の御支援、御愛読のほどよろしくお願いいたします。

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
所長 奈良 人司